

# 街を行く

第129回 大手町・大規模接種センター Otemachi

## 良くも悪くも街の名物

ネガティブな話題が多かった「街を行けない」シリーズでしたが、これからは「コロナと街」に前向きな視点から向き合うコラムをお届けしていきたいと思えます。

小生、日常の業務はテレワークが中心。ですが人と人との意思疎通をWEBだけで済ますのは物足りません。ここぞというときは直接面談を希望しがちです。企画のプレゼンや報告のミーティングはWEBでも抵抗ありません。しかし、ディスカッションの場では話し手の意見や意気込みが伝わる“パンチ力”に欠ける気がするのです(自分の考えが相手に十分通じたかも不安になります)。専門家の見立てではこの先2~3年は対面を控えるべき状態なのだろう。ワクチン接種が進んでも自由に人と会えないなんて何とももどかしい。

確かに欧米諸国は行動制限から開放されてすぐ感染爆発を起こしました。それでもマスクなしで飲食を楽しみ、満席の野球場でビール片手に応援し、ライブコンサートを体全体で楽しんでいます。良くも悪くも日本もやがてこんなふうにコロナ禍と付き合うようになるのでしょうか。

感染に怯えて過ごした一年半が勿体なかったと反省しています。もっとメリハリをつければ、有意義な時が過ごせたはず。出かける時は街を怖がり、なるべく人混みを避けるようになってきましたが、良くも悪くも街は“避けるべき場所”ではないと考えが変わりました。

適切な言い方ではないですが、街の価値を再発見できたのはコロナ禍のお陰かもしれません。そして、街はそこで生



今回の内容と関係ありませんが、コロナ禍後を考えるための写真です。

活する人が作るものだと考えてきました。いまは違います。街が人々の考えや生活様式を変えていくのです。不動産事業は、テレワークなどこれからの生活様式に合った街づくりの模索が主流になるでしょうが、多くの人にとってはこれまで以上に街に合わせたライフスタイルを求めていくのではないのでしょうか。

### 南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。